

注意

- ・本資料の画面はFW15.81時点のものです。バージョンによってデザインや操作方法が異なる場合があります。
- ・電話回線を使用する場合、携帯電話の電波状況によってRTKやVRSが繋がらない場合があります。
- ・自動操舵での走行精度は土の状態に左右される場合があります。
- ・パラニやRTKアプリ、スマートフォンの使用方法に関しては、提供元にお問い合わせください。

電源の切り方

① **ディスプレイ下部の  をタップし、PIQ画面スワイプして終了する**

② ** 電源ボタンを短く一度押す**

③ ** 電源を切る をタップする**

Trimble Ag ユーザーサポートサイト

<https://annex.nikon-trimble.co.jp/agri/user/index.html>



株式会社ニコン・トリンプル
農業システム営業部
2026年3月作成



その他アイコンの説明

-  ホーム画面に戻ります
-  実行画面に戻ります（事項画面起動時のみ）
-  圃場マネージャーを開きます。AB線の設定や防除敵の設定ができます
-  診断メニューを開きます。
 - ・システム-パフォーマンス：シリアルナンバーやファームウェアのバージョンを確認できます
 - ・Autopilot-設定：自動操舵の感度調整ができます
 - ・Autopilot-デバイス：モーターの接続状況やステータスを確認できます
-  ユニバーサルターミナル画面を開きます。ISOBUS農作業機用のインターフェースです
-  PIQ設定を開きます
-  データの転送や削除を行います
-  USBメモリを接続した状態で押すと、USBメモリにスクリーンショットが保存されます
-  Wi-Fiの接続状況を確認できます

よくある質問（簡易版）

- ・衛星マークが緑にならない
 - 屋根や壁、電線などの障害物のない屋外で確認してください。
 - 衛星マークが赤の場合
アンテナが認識（認識）されていない可能性があります。ケーブルの接続確認をしてください。
 - 衛星マークが黄色の場合
補正情報が受信できていない可能性があります。補正情報の設定や契約状況を確認してください。
- ・自動操舵がONにできない
 - 診断メニューのAutopilot-デバイスの画面で、モーターが接続済みになっていることを確認してください。
 - 電源を入れた直後は方向が正しく認識されず自動操舵をONにできない場合があります。トラクターで前進バックを行うか、しばらく移動（50m程度走行）してください。
- ・蛇行する
 - 車両プロファイルからトラクターのサイズや前後が正しく入力されていることを確認してください。
 - キャリブレーションや感度調整を行ってください。
- ・掛け合わせが合わない
 - 車両プロファイルの設定からロール補正を行い、往復したときのタイヤ跡にずれがないことを確認してください。
 - 作業機の設定や取付け位置を確認してください。
- ・作業記録（色塗り）を消したい
 - 作業を新規で作成してください。

Trimble GFXシリーズ 簡易マニュアル

開始準備・設定編 その1



写真はGFX-1260の場合です

① ** 電源ボタンを押す**
短く一度押します

② ** PIQアプリケーションをタップ**
ガイダンスや自動操舵の設定を開始します

その他アイコン

 **USB接続ポート**
USBメモリの挿し込み口です

 **アプリセントラル**
ライセンスの確認や、アプリのダウンロードに使用します

 **アンドロイドの設定**
Wi-Fiの設定や言語・時間の設定に使用します

開始準備・設定編 その2



③ 圃場を作成または選択

圃場名をタップして選択します
初めて作業する圃場の場合は、
+ 新規 をタップして、名前を入力し保存します

④ 全部の項目の右上に色がついていない状態（白色）にする

白色：設定が完了している状態
赤色：設定が完了していない
黄色：設定が不十分か、準備ができていない状態

⑤ マークが緑色になっている

衛星数を多く補足できている状態、かつ補正情報も正確に受信出来ている状態
衛星が補足できていないか、アンテナが認識されていない状態
車両プロフィールが選択されていない場合

⑥ マークが緑色になっている → タップして実行画面へ

マークが黄色の場合は設定を見直し、再起動する



詳しい設定方法や、新規作成の手順はこちらをご参照ください

各項目の枠に色が付いている場合

GNSS

使用する補正情報を選択します

車両プロフィール

使用するトラクターに応じた車両プロフィールを選択し、
車両のプロファイルの選択 をタップします

農作業機

使用する農作業機プロフィールを選択し、
農作業機プロフィールの選択 をタップします

資材（必要に応じて）

資材を使用する場合にのみ設定が必要です

圃場名

使用する圃場をタップし選択します

作業

作業ごとに新規で作成することをおすすめします
作業記録をリセットしたい場合は新規作成します

操作責任に関する警告

「操作責任に関する警告」が表示されたら「承認」をタップします
(2回表示されます)

自動操舵システムが検出されました
今すぐ有効にしますか？

いいえ はい 次ページへ
表示されたら「はい」をタップ

作業開始・実行画面編



① ラインの作成

作業の基準となるAB線や境界線を作成します。

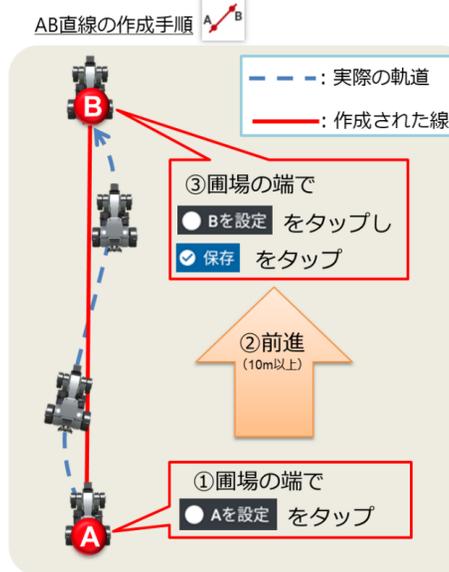
基本ガイダンス

- AB直線：2点を指定しシンプルな直線を作成します
- A+線：方位角を入力し直線を作成します
- AB曲線：走行した軌跡から曲線を作成します

シンプルな境界線（作成しなくても使えます）
記録の位置を指定して、境界線を作成します

記録ボタンについて

- Aを設定 タップした位置にA点を設定します（AB線）
- Bを設定 タップした位置にB点を設定します（AB線）
- REC 記録を開始します（AB曲線、境界線）
- 保存 記録を保存します（全てのガイダンスパターン）
- 一時停止 記録を一時停止します（AB曲線、境界線）
- 破棄 記録を取り消します（全てのガイダンスパターン）



② 自動操舵ステータス

- 自動操舵を開始します
- 作動中：自動操舵が作動しています。停止するにはタップします
- 使用不可：作動に必要な条件が満たされていません。原因を確認するにはタップします
- 無効：設定を行うか、自動操舵を有効化する必要があります

③ 進捗状況

- タップすると作業記録が開始されます
- 作業を記録中です。タップすると記録が停止します

④ ガイダンスパターンの切り替え

短いタップ
AB線が複数ある場合、順番に切り替わります
3秒長押し
AB線を一覧から選択できます。
フィルター機能で、作業機を指定できます

⑤ 微調整

- ※この設定は一時的なため、実行画面終了時や電源を切ると、ラインは元の位置に戻ります
- 微調整
- ガイダンスラインを左にずらします
 - ガイダンスラインを右にずらします
- ラインシフト
- 値を指定してガイダンスラインをシフトします
 - 今いる位置にガイダンスラインをシフトします
- 作業機ドラフト
- 作業機の位置を左にずらします
 - 作業機の位置を右にずらします